



2019年6月18日
東日本旅客鉄道株式会社
東京支社

安全・安定輸送のレベルアップに向けた新たな訓練設備の整備について ～「総合訓練センター 蒲田トレーニングセンター」を開設します～

- JR東日本では、グループ経営ビジョン「変革2027」において、安全がJR東日本グループの経営のトッププライオリティであることを当社グループ全社員の共通認識として徹底し、グループ一体で「究極の安全」に向けて教育・訓練を拡充するなど具体的な取組みを推進することを掲げています。
- 東京支社では1989年から総合訓練センター(最寄り駅 宇都宮線東大宮駅)にて異常時対応訓練等を行ってききましたが、このたび駅社員を対象により実践的な安全教育・訓練を拡充し、異常時対応能力や安全に関する知識・技能をもった社員をさらに体系的に育成することを目的に、新たに「総合訓練センター 蒲田トレーニングセンター」を開設いたします。

1 開設日

2019年 7月 1日(月)

2 開設場所

東京都大田区新蒲田1丁目24番地1号 (大田運輸区敷地内 蒲田駅西口から徒歩約10分)



実習棟全景



志茂田駅

敷地面積:約3,500㎡

訓練線:190m×2線、80m×1線

訓練ホーム:10m×3面

実習棟延床面積:約279㎡

常駐講師数:6名(センター長を含む)

※大田駅と志茂田駅は、「総合訓練センター 蒲田トレーニングセンター」開設のために設置された訓練駅です。

3 主な設備

(1) 訓練設備

- ・訓練線(3線)
- ・ホーム(3面)
- ・訓練車(ミニ車両)2両
- ・信号設備
- ・踏切
- ・架線

(2) 付帯設備

- ・実習棟



訓練車(ミニ車両)

4 「総合訓練センター 蒲田トレーニングセンター」で行う主な安全教育・訓練(例)

(1) ホーム上での基本動作訓練

列車を停止させるための様々な手法および設備等の取り扱い方法を習得



(2) お客さま救済訓練

駅間で停車した列車からお客さまに安全に降車いただく方法を習得



(3) 列車見張員訓練

線路内で作業する社員の安全確保のために必要となる知識・技能を習得



(4) 落とし物拾得訓練

ホーム上からの落とし物などを安全に拾得する手順を習得



※写真は全てイメージです。